

平成15年度 全国中学校体育大会  
**第33回 全国中学校バスケットボール大会**

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

女子		予選Nリーグ	
日時	平成15年8月 22日 (金)	9:30 ~	
会場	札幌美香保体育館	Fコート	第1試合
結果	松山南第二 (愛媛)	55	45 船橋 (東京)
		17 - 10 13 - 15 11 - 10 14 - 10	
主審	石川 典英 (大阪)	副審	梶山 篤 (広島)

【個人トータル表】

松山南第二(愛媛)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	藤本 真央	4	0	2	0	4
5	岩井 英里香	17	3	4	0	0
6	伊賀上 真衣	14	2	4	0	1
7	倉田 芽育	10	0	5	0	3
8	柏 彩	7	0	3	1	1
9	門脇 知佳					
10	日野 真琴	3	0	1	1	0
11	大野 結衣					
12	松本 有紀					
13	野口 慶美					
14	竹田 結紀子					
15	藤澤 晴香					
16	福岡 香織					
17	徳・美穂					
18	山村 亜衣					
	合計	55	5	19	2	9

船橋(東京)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	山本 史織	9	1	2	2	1
5	竹間 結花	10	0	3	4	3
6	風間 亜依香	8	2	1	0	1
7	木下 玖瑠美	10	0	5	0	3
8	今野 綾乃	8	0	3	2	1
9	井上 彩	0	0	0	0	0
10	平山 佐千穂					
11	斉藤 杏奈					
12	浅倉 優依	0	0	0	0	0
13						
14	大島 恵					
15	蓮見 朋代					
16	大山 成美					
17	今成 友美					
18						
	合計	45	3	14	8	9

【戦評】

四国ブロック一位の松山市立南第二と関東ブロック3位の世田谷区立船橋との対戦。高さで有利な松山南第二に対して船橋がどのように戦うかが注目される。

第1クォーター、開始直後に松山南第二が速攻で先制。ハーフコートマンツーマンで守り、高さを生かしたブロックショットからの速攻や素早いパス回しからテンポよくシュートを決め一気に得点を重ねる。対する船橋は2-2-1ゾーンプレスとハーフコートのマンツーマンを組み合わせて守る。スタートで出遅れ、11点差まで広げられる。タイムアウトで落ち着き#4 山本と#6 風間の3Pで追い上げ、松山南第二17-10 船橋で第1クォーターを終える。

第2クォーターは船橋のペースで始まる。#5 竹間のレイアップシュートなど3連続でゴールし、ゲームを振り出しに戻す。ゾーンプレスから相手のミスを狙い流れをつかみかける。しかし、松山南第二も#6 伊賀上、#5 岩井の3Pなどでリードを譲らない。

後半に入っても一進一退の攻防が続く。松山南第二はインサイドの選手がディフェンスだけでなく、オフenseでもがんばり#7 倉田のポストプレーが立て続けに決まる。船橋も1-3-1ゾーンを敷いてミスを誘い、#4 山本や#5 竹間の1on1で攻める。第4クォーターに入り流れはまた松山南第二に一気に傾く。得点の止まった船橋に対し、着実に点を重ね、松山南第二 55-40 船橋で終了。

松山南第二の高さに苦しみながらも足を使ったプレーで対抗した船橋もよく善戦した。

津田 政明(札幌北栄中)

【リーグ戦績】

	松山南第二 (愛媛)	井川 (秋田)	船橋 (東京)	勝敗	順位
松山南第二 (愛媛)		( )	55 (17-10 13-15 11-10 14-10)	1勝 0敗	位
井川 (秋田)	( )		( )	0勝 0敗	位
船橋 (東京)	45 (10-17 15-13 10-11 10-14)	( )		0勝 1敗	位